



▲地域住民の力で5年間の交通死亡事故ゼロを達成した登米地区

地域住民の力で5年間ゼロ

登米で交通死亡事故ゼロ達成記念式

「登米地区5年間! 交通死亡事故ゼロ達成記念式」が11月13日、登米公民館で開催され、交通安全団体、町内小中高生ら約150人が参加しました。登米地区では、平成13年11月から交通死亡事故の発生がなく、今年の11月をもって5年間を達成。宮城県警から地区内の交通安全7団体に、交通事故抑止功勞の感謝状が贈呈されました。また、参加者全員で「もっとももっとめっぺ交通事故」をモットーに、総力を挙げて交通安全を推進します」と声高らかに宣言を行い、さらなる交通死亡事故の防止を誓いました。

初めては趣向を凝らして

米山で「ふるさとよねやま秋まつり」

米山町では初となる「ふるさとよねやま秋まつり（同実行委員会主催）」が10月28、29日の両日、米山総合支所を主会場に開催されました。郷土文化・芸術品などを披露する文化祭や、地元の商工会加盟団体が出店する商工祭、さらには、旧米山町の町花である菊を展示する菊花展、新鮮な農産物の販売などを実施。企画運営は、地域住民、ジュニアリーダー、米山高生徒らのボランティアの手によるもので、趣向を凝らしたさまざまなイベントに、大勢の来場者が楽しんだ2日間となりました。



▲さまざまなイベントに家族連れが多く訪れたよねやま秋まつり

自慢の作品が勢ぞろい

南方で「みなみかた秋まつり」

各種イベントを通じて地域の活性化を目的に、「みなみかた秋まつり（市教育委員会南方事務所主催）」が11月4、5日の両日、南方公民館を主会場に開催されました。絵画や写真の「展示の部」、南方文化協会による芸能発表会の「演芸の部」のほか、リサイクルチャリティーバザー、商工祭りなどを実施。家族連れなどが大勢詰め掛けました。訪れた人は「芸能発表会の踊りを見て心が和みました。子どもたちが作った皿や絵画などの作品も、上手に出来上がっていて感心しました」と話していました。



▲町内小中学校の児童生徒らの作品を感心して見物する来場者

おいしく楽しく大にぎわい

東和で「東和の秋まつり」

東和の秋まつり（同実行委員会主催）が11月3日、東和総合支所西側特設会場で開催されました。ステージでは、町内の小中学校児童生徒や各種団体員らが歌や踊り、太鼓演奏などを披露。軽食バザーや農林産物・東和中学校起業販売コーナーなども多数設けられ、大勢の来場者でにぎわいました。また、スギの丸太をノコギリで切り落とし、そのタイムを競う「丸太切り選手権」も実施。子どもと大人の各3チームが、リレー方式で丸太の切り落としに挑戦し、見物客から大きな声援が飛び交いました。



▲力を振り絞ってスギの丸太切り挑戦する子どもたち

かかしで商店街を活性化

迫で豊年かかし祭り

豊年かかし祭りが10月29日、佐沼大通り商店街で開催され、市内の各事業所や子ども会、学校、社会福祉施設などから100体を超える「かかし」が出品されました。このイベントは、実りの秋を迎え「かかし」によるまちおこしと、商店街の活性化を目的としたもの。商店街協同組合が作詞した「登米市豊年かかし祭り音頭」の発表会や、マグロ解体ショー、地場産品などの出店も並び、大勢の見物客でにぎわいました。訪れた人は「創意工夫を凝らしたかかしが多く、見ているだけで楽しかった」と話していました。



▲飲酒運転を無くすことを願って作られた「飲酒運転撲滅くんかかし」

秋の味・見どころが満載

津山でもくもくランド秋まつり

もくもくランド秋まつり（同実行委員会主催）が10月29日、道の駅津山「もくもくランド」で開催されました。もちつき大会やはっと汁の試食には、長蛇の列ができるほどの好評ぶり、訪れた人たちは津山自慢の秋の味覚を満喫しました。また、文化祭芸能発表会では、火伏せの獅子舞や和太鼓演奏、舞踊などが披露され、会場は大きな歓声と拍手に包まれました。夜には花火大会（みやぎ北上商工会津山支部主催）も実施され、澄み切った夜空に打ち上げられた約1000発の花火が大輪の花を咲かせました。



▲芸能発表会で披露された横山火伏せの獅子舞